

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第36週	第35週	第36週		第35週		第36週		第35週		第36週		第35週		第36週		第35週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	9	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	56	48	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
感染性胃腸炎	59	84	10	10	22	14	10	5	20	4	0	0	0	5	0	5	2	5
水痘	1	9	0	0	3	5	0	0	2	1	0	0	0	2	0	0	1	2
手足口病	564	701	125	46	132	56	81	16	92	11	0	17	0	41	44	13	40	4
伝染性紅斑	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	31	19	8	0	5	0	6	0	2	0	0	0	0	0	2	0	3	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	65	73	5	4	4	2	5	0	4	0	0	0	0	1	0	4	0	1
流行性耳下腺炎	43	23	9	9	12	16	1	0	0	3	0	1	0	0	8	8	12	13
RSウイルス感染症	168	186	8	1	15	2	8	0	11	0	0	0	0	1	0	1	4	1
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	14	13	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

【感染症発生動向調査】 ※定ポイント医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況
 〈県中地域で手足口病の流行が続いています〉
 県中地域で、手足口病の流行が続いています。手足口病は頬の内側や舌、手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、乳幼児を中心に夏季に流行します。乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは、集団感染が起こりやすいため特に注意が必要です。
 一般的な感染対策は、流水と石鹸でしっかりと手洗いをすること、排泄物を適切に処理すること等です。手足口病は症状が見られなくなった後も、2~4週間にとわり、便などからウイルスが排泄されるため、注意して下さい。

レジオネラ症について

福島県内で断続的にレジオネラ症の報告があがっています。県中管内でも1月~現在までに3件の報告がありました。レジオネラ症を予防するために、基本的な情報と重要なポイントをお知らせします。

レジオネラ症とは

- レジオネラ症はレジオネラ属菌の感染によって起こる感染症で、肺炎を中心とするレジオネラ肺炎と、肺炎にならない自然治癒型のポンティアック熱の2つの病型があります。特に問題となるのがレジオネラ肺炎で、腎不全や多臓器不全を起こして死亡する場合があります。
- レジオネラ肺炎は、2~10日(平均4~5日)の潜伏期を経て発病し、悪寒、高熱、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛などが起こり、呼吸器症状として痰の少ない咳、少量の粘性痰、胸痛・呼吸困難などが現れ、症状は日を追って重くなっていきます。腹痛、水様性下痢、意識障害、歩行障害を伴う場合があります。

予防について レジオネラ症は、レジオネラ属菌に汚染された目に見えないほど細かい水滴(エアロゾル)を吸い込むことで感染します。人から人への感染はありません。

風呂

- お湯を循環ろ過して長時間使用する、いわゆる24時間風呂の場合は、レジオネラ属菌が生息している可能性があります。
- お湯は定期的に取り換え、浴槽の清掃を行うなど清潔に保ちましょう。
- 浴槽に入る前には、体の汚れを落としてから入るようにしましょう。

加湿器

- 水はこまめに毎日取り替え、使用する水も水道水など衛生的な水を使用しましょう。
- 定期的にノズルの清掃やタンクの洗浄を行い、加湿器を使用しない期間は水を抜いてきれいにおきましょう。

参考:厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/legionella/about.html>